

令和5年度 第7回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和5年9月4日（火） 15時00分から17時00分まで

開催場所：A203-204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、原田総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、田中ゼロカーボンシティ担当参事、林健康福祉部長、高山こども・子育て担当参事、清水産業経済部長、今産業経済部参事、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、北原会計管理者、和泉議会事務局長、秦野教育次長、佐々木財政課長、小室秘書課長、小椋南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

＜市長＞

- ・昨日の防災訓練は、南海トラフ地震と連動して東側でも発生する想定であったが、実際起こりうる内容であった。東日本大震災を初めとして、日本全国の震災対応の記録は残っているので、読んでいただきたい。南海東南海の地震で太平洋側が被災した際は、当市が復興の内陸からの支援拠点になる可能性があると考えている。当市としても勉強しておかないといけない。
- ・来年度の予算要求に向けての準備をする時期になった。本日部長会議のメンバーには、NUDGEの資料を送った。今までは、何かを促す場合、研修の開催や補助金を出すというやり方だったが、知らず知らずのうちに市民の皆さんがそういう行動をとるようにするにはどうしたらいいのかを工夫することも大事。新しい情報やアプローチ、手法などアンテナを高くして勉強していただきたい。
- ・民間企業の取組についても参考となるものが多くある。民間の取組をそのまま市に取り入れるには難しい面もあるかもしれないが、ぜひ勉強していただきたい。
- ・デジタル田園都市国家構想に関連した補助金や地域創造の補助金など使える補助金はたくさんある。自分たちがやりたいことに対して、使える財源は何かないのか考えていただきたい。
- ・本日の報告にある流山市については、以前に「流山がすごい」という本を読んだことがきっかけで、今回視察を実施した。「流山がすごい」という本もぜひ読んでいただきたい。先進的な取組をやっている地方公共団体のことも勉強することは大切なこと。
- ・最近市役所の周りや自治振興センター前の市道の草が目につくので、気にかけていただきたい。

＜副市長＞

- ・市議会第3回定例会が開会となり、今週から委員会が始まるので、対応をよろしく願います。
- ・南信州広域連合第4次広域計画が来年度までになっており、次の10年間の計画を策定する年になる。当市は、当地域の中心市であり、広域連合という圏域として取り組んだ方がいいことや事務の効率化も含めて事務の共同処理として考えられるようなことについて、ぜひアイデアを出し、お知らせいただくとありがたい。

＜教育長＞

- ・地震総合防災訓練に参加し、本格的にいろんなことがなされていることを改めて確認ができた。テレビで関東大震災の報道を見た。正しい情報共有をいかに早くできるかが大事なことで改めて感じた。
- ・学校現場は体育館を中心に避難所になるが、武道館のような量のある広い場所は非常に役に立つと思った。
- ・平成18年の諏訪の豪雨災害の時に、県の職員として、現地に派遣された。市町村の職員の皆さんが一番頼りにされていた。お互いに顔が分かる、詳しい情報を持っている、地理も分かる。教員も裏方として非常に大事な存在だった。例えばお昼の弁当の配布や夜の会合を開くための準備をするには非常に多くの力が必要だった。
- ・当市も地震、豪雨、大火といった災害が過去にあったが、そういったときに大事になるのは、市の職員だと改めて感じた。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染者がお盆明けに増加している。

2 報告事項

(1) 市広報紙「広報いいだ」リニューアルについて

◇趣旨

- ・市広報紙「広報いいだ」リニューアルについて報告する。

◇意見

(会計管理者)

- ・公民館の広報委員の意見を聞いたのは丸山と東野だけか。

(広報ブランド推進課長)

- ・そのとおり。

(リニア駅周辺整備担当参事)

- ・縦書きの方が見やすい、読みやすいはあると思うが、混在することもあるのか。

(広報ブランド推進課長)

- ・全て横書きではなく、縦書きがいいものは縦書きにするよう検討している。

(ゼロカーボンシティ担当参事)

- ・課題があり、それを解決するために変更することになると思うが、その関係性を明確にしておくべき。

(広報ブランド推進課長)

- ・平成6年から30年経っており、デザイン性の問題がある。横書きが主流になっていること、現在の表記はローマ字が非常に多くなっている状況から横書きの方が視線の動きが揃い見やすい。時代に合った読みやすい広報紙にデザインを刷新する。

(企画部長)

- ・一定程度、広報いいだから情報を得ている人が多く、高齢者の方もいる。基本的には市公式Webサイトを中心に情報を発信し、そこへうまく誘導していくように整理をしていきたい。高齢者向けの情報は広報いいだでなるべく一括で取れるようにしつつ、若者向けの情報は二次元バーコードで誘導していく。

(総務部長)

- ・高齢者の意見も大切にすべきと思うが、どうか。

(広報ブランド推進課長)

- ・高齢者の意見もお聞きしながら、進めていく。

(2) 産み・育てやすい地域の実現に向けた取り組み提案シートに係るヒアリングの実施について

◇趣旨

- ・産み・育てやすい地域の実現に向けた取り組み提案シートに係るヒアリングの実施について報告する。

◇意見

(市長)

- ・市にとって、非常に大事な課題。

- ・各部の来年度事業を検討する際に、この視点も留意して、組み立てをしていただきたい。アプローチや取組の仕方については、いろんな情報や視点がある。

(3) 令和5年度飯田市長寿企業等顕彰事業について

◇趣旨

- ・令和5年度飯田市長寿企業等顕彰事業について報告する。

(4) 千葉県流山への視察の報告について

◇趣旨

- 千葉県流山への視察の報告について報告する。

(市長)

- 物流団地は直接当市で同じようなことはできないが、十分参考にできる。流山市と当市は似たような環境もあり、流山市も昔は千葉のチベットと呼ばれていたという記述があるが、鉄道開発に伴う駅周辺の課題、沿線都市との差別化・競争への対応、少子高齢化への取組は非常に参考になる事例。
- 一方で、流山市と当市の環境が違うところもある。リニア中央新幹線は流山市と同じように通勤電車になるわけではないので、ターゲットが異なる。佐久平の駅が成功例として取り上げられている。駅の特徴として、一定数の定期利用者がおり、乗降客数のベースを支え、本数が増えていく。観光客は増減があるが、定期利用者は東京に行く方ばかりではなく、長野市へ通勤通学している方もいる。当市も通勤、通学、二地域居住の人たちが利用客としてベースになるように考えないといけない。
- 交流人口対策として、流山市はターゲットを共働きの子育て世代に絞り、その人たちが住みたいと思うまちをつくることをいろんな角度から考えた。地方と都市部では、鉄道の意味合いも違うし、実際にできるアプローチも違うが、流山市がどういうこと考えて、実際に何をしているのか非常に参考になるので、参考にさせていただきたい。
- ポテンシャルとして負けていないので、ぜひ勉強を進めたい。

(産業経済部参事)

- 流山市は、とにかく駅周辺が便利。保育ステーションや子供の遊び場、それ以外にも若年増の夫婦が来そうなお店がある。駅周辺に行けばどうにかなる、そこに行くことが一つの目的となるようなまちづくりがされている。松戸市や習志野市に比べても、非常にコンパクトに必要なものが揃っている。
- 倉庫業は危険、きついというイメージがあり、人が集まらないと思っていたが、募集すればすぐに人が集まる。施設内が非常に綺麗なため、男性も女性も集まる。アルバイト情報誌の募集状況を見ると、ほぼ募集がない。福利厚生を工夫すれば、業種で人の偏りも少しは減らせるのではないかな。
- 流山本町は、道が細く、歩道部分がほぼないので、子供連れは回りにくい。

◇意見

(総務部長)

- 流山市の失敗した取組について、聞いて来たことはあるか。

(市長)

- 市長は何も言っていなかった。先週のラジオ放送で、流山市について「今はいいがこれから大変なことになるはずだ。」との専門家の発言があった。一定の世代が来ているということは、その人たちが丸ごと高齢化したときに、多摩ニュータウンになってしまう可能性があるという視点。
- 地方が直面する課題に対しては、今一番対応できている市であると感じている。

(産業経済部参事)

- 駅前開発をしたので、地価がどんどん上がっている。高く住めないで郊外に移る人や建替時に他の市町村へ移る事業者もいる。周りの市町村でPR合戦が続いている様子もうかがえた。

(議会事務局長)

- 流山市の職員の半数以上は、社会人経験者という話はなかったか。

(市長)

- 実際は分からないが、非常に民間的な市役所経営をしていると感じた。総合計画のボリューム、資料作りにかかる時間、人件費の削減という話はあった。
- マスコミにこれだけ取り上げられているので、職員は誇らしいと感じているように感じた。私たちも他の市に比べて頑張っていることを、市民の皆さんや全国もっとPRを頑張らないといけない。

(こども・子育て担当参事)

- 元々、地元にあったお店は活躍できているのか。

(市長)

- できてない。割り切っている。流山本町はそういう意味で言ったら1回全部客を奪われている。同じことをすべきではないところは当然ある。
- 緑や景観を守ることが付加価値に繋がる場所は、これからのリニア時代のまちづくりの観点として持っておきたい。

(会計管理者)

- ・オープンガーデンは費用の補助があるのか。

(市長)

- ・小布施町と同じで見せたい人の庭を見せている。

(リニア駅周辺整備担当参事)

- ・企業や住宅を開発するにあたって、3割の緑地を設けるように制限している。3年間の剪定費用は全て市が持つ。3割の制限をかけることは非常に大変で、担当者は非常に苦労したとの話をお聞きした。

(市長)

- ・広告にしても、緑にしても、ガイドラインがあって市主導でやっているとのことであり、民間ベースでは、住宅やマンションを作ると中古価格が全然下がらない効果も生まれていると伺った。

(5) 第3回定例会（閉会日）全員協議会報告事項について

◇趣旨

- ・第3回定例会（閉会日）全員協議会報告事項について報告する。

3 その他、連絡事項

4 閉 会